

平成 26 年度 定数・機構編成のポイント

限られた人的資源の中、定員の再配分、組織・職位の再構築を行い、さっぽろ元気ビジョン第3ステージに掲げるまちづくり・市政運営や、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の実現に向けて力強いスタートダッシュを切るための体制を強化

◆「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に掲げる“戦略的に取り組むべき課題”への対応

【暮らし・コミュニティ】

- ・子ども・子育て支援新制度及び待機児童対策に向けた体制強化 《子）子育て支援部》
（子ども・子育て支援新制度への対応に加え、待機児童解消に向けて、子育て支援新制度担当部長・新制度担当課長・待機児童対策担当課長を新設）
- ・保健師による地域保健福祉活動の更なる推進 《区）保健福祉部》
（地域課題に応じた保健福祉活動を実践するため、今年度の先行3区への配置に続き、残りの7区に地区担当保健師を各2名配置）
- ・児童相談所と区等関係機関との連携強化 《子）児童福祉総合センター》
（児童に関わる各種の関係機関との連携強化のため、児童相談所に地域連携担当課長・担当係長を新設
そのほか、児童福祉司及び児童心理司を各2名増員し、体制強化）

【産業・活力】

- ・国際経済戦略室の新設 《経）産業振興部》
（海外需要の取り込みに向け、食の海外展開とコンテンツ関連事業の推進を図るため、4名増員し、国際経済戦略室を新設。部長職1名、課長職2名、係長職5名、一般職9名の計17名体制）
- ・創造都市さっぽろの推進に向けた体制強化 《政）政策企画部》
（平成25年11月のユネスコ創造都市ネットワーク「メディアアーツ分野」加盟を契機に、創造都市さっぽろに関する取組を強化していくため、プロジェクト担当部を創造都市推進担当部とし、2名増員）
- ・国際芸術祭開催に向けた体制の強化 《観）文化部》
（平成26年7～9月の開催に向け、4名増員 計16名体制）
- ・2017冬季アジア札幌大会開催準備体制の強化 《観）スポーツ部》
（平成29年2月の開催に向け、15名増員 計25名体制）

【低炭素社会・エネルギー転換】

- ・駒岡清掃工場更新に向けた体制強化 《環）環境事業部》
（効率的な廃棄物発電や熱利用を推進する駒岡清掃工場の更新計画策定等のため、1名増員）

【戦略を支える都市空間】

- ・（仮称）市民交流複合施設の整備体制強化 《観）文化部》
（札幌の文化芸術・創造的な市民活動の拠点の整備のため、4名増員し、市民交流複合施設担当課長・担当係長を新設
課長職1名、係長職3名、一般職2名の計6名体制）
- ・篠路駅周辺地区、苗穂駅周辺地区及び西2丁目地下歩道整備事業等に向けた体制強化 《建）土木部》
（各拠点地区および都心における、まちづくり計画と連動した事業推進のため、特定街路担当課長を新設）

◆その他重要課題への対応

- ・教育振興基本計画推進体制の強化 《教）生涯学習部》
（不登校の未然防止等、教育振興基本計画の重要項目を着実に推進するため、教育政策担当課長・担当係長を配置）
- ・臨時福祉給付金への対応 《保）総務部》
（消費税率の引き上げに伴う臨時的な給付措置を行うため、担当部署を新設）
- ・生活保護世帯数増加による増 《区）保健福祉部》
（生活保護世帯数の増加に対応するため、区保護課に計21名増員）